森林資源を大切にするため外食にははしを持参します

「異文化を体験してみたかった」と話すジョーダンさんは、日本で英語指導助手を経験した友人の体験談を聞いて自らも応募。来日前は「日本は神社仏閣など古い建物がたくさんある街並み」をイメージしていたようです。

「てんぷらそばが大好き」とにっこりするジョーダンさんは、食事に出かけるときには必ず自分のはしを持参します。それは、日本の食堂ならどこでも置いてある割りばしが「森林資源を使い捨てにしているよう。自然を大切にしなければ」と環境保全に気を使っているからです。

アメリカでは、ニューヨークやロサンゼルスなど大都市を中心に公共施設での喫煙を禁止しているところが多いのですが「日本では、どこでも自由に喫煙できるのでとても驚きました。どうして健康に害のある喫煙を放置しているのでしょう」と生活習慣の違いに戸惑いを隠せません。

自然と触れ合える山登りやハイキングが大好きです

市内の各中学校などで生の英語を教えているジョーダンさん。

「英語のマスターに近道はないと思いますね。まず、基本となる単語と文法を丸暗記でよいから徹底的に覚えること。それから会話の練習へ」と英語学習は基礎が大切と話します。そして「基本を覚えたら、なるべく外国へ行って実際に使ってみると英会話が上達すると思います」と積極的に海外へ出ることを勧めています。

「休日には、できるだけ自然の中にいたい」と話すジョーダンさんは山登りやハイキングが大好き。昨年秋には大雪山系旭岳に登ってきました。「登別の自然は素晴らしいですね。案内していただける方はいないでしょうか」と登別の自然にもっともっと触れたいと思っています。

▲楽しい英語の授業を心掛けているジョーダンさん

きらり

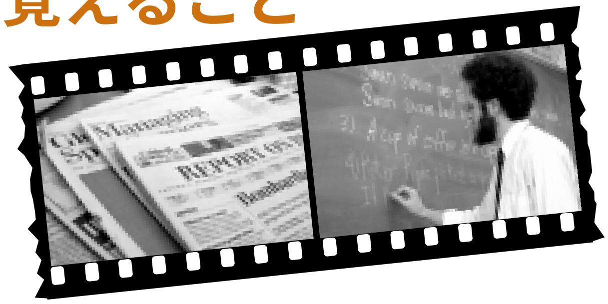
KIRARI

ジョーダン・グリーンさん

市は、平成２年から英語指導助手として外国人青年を招き、生徒たちに生きた英語を肌で感じ取ってもらうとともに、離任後はそれぞれ『登別市ふるさと大使』に委嘱され、登別のＰＲや国際交流に貢献しています。

昨年７月に着任した７代目の英語指導助手ジョーダン・グリーンさんに話を聞きました。

英語マスターのこつは、基本をしっかり覚えること



Jordan Green

1979年（昭和54年）アメリカ・ニューヨーク州サファーン出身。23歳。デラウェア州立大学卒業。在学中は英文学と地理を専攻。将来はジャーナリストを目指す。昨年７月初来日。趣味は山登りや読書など。